

令和6年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 霧島市立国分中央高等学校

1 目的

本校は、都市近郊に位置し、ほとんどが非農家世帯の生徒である。本校への志望理由としては、家庭菜園や地域の行事等で植物を育てた経験から興味や関心を持ったというものが多い。農業を職業選択の一つとして捉えることのできる人材の育成のために、農業学習や農業体験を積極的に行うことで、農業への興味・関心を高めることが期待できる。また、視察研修等の実施によって生徒がより見聞を広め、農業への理解や就農意欲の醸成を目的とする。

2 実施状況

(1) 国分西小学校出前授業の実施

3年生バイオ班11名が、霧島市立国分西小学校の児童と一緒にサツマイモ苗の定植を行った。始めに、パワーポイントを使いながら、サツマイモの紹介やサツマイモに関するクイズを実施した。



サツマイモ苗定植(国分西小)

(2) 小浜小学校出前授業の実施

3年生草花班11名が、霧島市立小浜小学校でフラワーアレンジメントの出前授業を行った。

児童一人一人に、フラワーアレンジメントの楽しさを分かりやすく伝えるためには、どうすればよいか自分達で考え、コミュニケーションをとることの大切さを学ぶことができた。



フラワーアレンジメント(小浜小)

(3) HACCP システムトレーニング研修の実施

国際水準食品安全規格では HACCP の考え方が必要であるため、フーズシステム研究所に講師を依頼し、2年生27名が CODEXHACCP トレーニングコースを受講した。



HACCP システムトレーニング 研修

(4) 収穫祭の実施

生き物の命をいただくことへの理解や、人へ感謝する気持ちの醸成を目的に実施した。1年生から3年生まで102名が参加し、学年を超えた交流を行うことができた。また、農場の清掃や農具の整理整頓も実施し、GAP等で学習した成果を発揮することができた。

3 今後の課題、取組

専門知識や経営感覚を学び、農業経営者等を目指す意識を高めることができたと感じる。今年度の卒業生は県立農業大学校へ2名進学、島津興業株式会社（庭園維持管理）に1名就職した。1、2年生の中には、農業大学校や農業関連産業に興味関心を示している生徒もいるため、継続した働きかけをとって農業の「経営者、従事者、理解者」の育成に取り組んでいきたい。



感謝祭